米沢興譲館同窓会会報

第35号
発行／平成18年8月1日
米沢興譲館同窓会
会報　編集委員会
当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏（昭和28年卒）の揮毫によるものです。

「日本最古の政治・文化の発祥地、飛鳥を除いて最適の就学旅行地はない」との結論のもと、恩師を巻き込んだ還暦過ぎの三八会修学旅行は実施された。
（紀行文は４ページ。写真は旅行中のひとこま）

興譲館同窓会・懇親会への抱負と総会へのお誘い

平成十八年度同窓会総会・懇親会
実行委員長　佐藤清二
（昭和四十六年卒）

同窓会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度も、恒例により九月十九日に創立百二十周年記念日の同窓会総会・懇親会が開催されます。この総会・懇親会は、再会の喜びを共に味わい、人と人とのかかわりのすばらしさを再確認していくよい機会ではないかと思っています。

昨今の目を覆いたくなる殺傷事件や凶悪犯罪を考えたとき、今生き方を真剣に問い直し、人と人との本来の意味でのかかわりやきずなをなお一層強くしていかなければならないとも考えています。

そのために、我々同窓会は、上杉鷹山公や細井平州先生の精神に則り、明るい社会や確かな絆の創造に向けた新たな改革の道を模索していく必要があります。

そういった意味のある同窓会総会・懇親会の準備と提供に、われわれ実行委員会が微力ながらもお手伝いできることに大きな喜びを感じているところであります。

では来る九月十九日の同窓会総会・懇親会に、先輩諸氏はじめ同窓会員多数に参加していただき、大いに人生を語り合っていただく機会にしていただければ幸いです。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

皆さんの活躍に期待を寄せて

同窓会長　高野　譲

長い梅雨が続きましたが、同窓会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

創立百二十周年の今年、新校長を迎えた母校はいよいよ充実発展を見せております。

同窓会としては、五年に一度改訂の会員名簿を刊行しました。今回は、専門業者の綿密な調査・校正によって作成され、すでに皆様のお手元に届けられたことと存じます。これを基に、今後ますます支部や学年の活動が活発に運営されることを期待します。

九月の創立記念日を前にして、旧校舎をスタートして白布高橋までの懐かしいコースを走る、OBによる白布マラソンも年々活況を呈し、学年ごとの対抗意識もあって盛りあがっています。

また、近年学年による様々な活動が見られます。昭和二十五年卒の新緑会では、フラワー長井線の車中を舞台にして同線の利用向上に貢献したり、二十九年卒の興福会では、古希を記念した独自の文集を刊行したり、三十八年卒では、還暦を記念して奈良方面の修学旅行をやったりと、それぞれユニークな活動をされています。他にもいろいろな企画で活発な同窓会活動をされていると思います。

一方、個人でも、先のアテネ五輪に出場したフェンシングの原田めぐみさんが、その後の世界大会で上位入賞を果たされましたし、最近の卒業生では、野球部出身の高橋雄康君が東大野球部に入り、新人戦で活躍、秋のシーズンでは東京六大学リーグ戦での活躍が期待されます。これらは私ども同窓生の誇りであり、今後も続々と多くの方々が各方面で活躍され、興譲館の名を天下に轟かせていただきたいと思います。

今年も九月十九日、恒例の大懇親会が予定されており、当番学年の幹事の方々が張りきって準備されています。皆さんのご協力で大いに盛りあがることを期待して、ごあいさつに代えます。

米沢興譲館同窓会

平成十八年度総会・大懇親会ご案内

一、日　時　平成十八年　九月十九日（火曜日）

一、会　場　グランドホクヨウ（市内金池二丁目）

一、日　程　①総　会　午後四時三十分
　　②懇親会　午後六時から

平成十八年度米沢興譲館同窓会会長　高野　譲
平成十八年度同窓会・懇親会実行委員長　佐藤清二
（昭和四十六年卒）

米沢興譲館高等学校

創立記念式典・記念講演

一、日　時　平成十八年　九月十九日（火曜日）

一、会　場　米沢興譲館高校　記念講堂

一、日　程　①記念式典
　　②記念講演
　　講師　田林晄一氏
　　東北大学医学部教授
　　（昭和四十一年卒）

再び赴任して

校長　蒲生直樹

興譲館高校は、私にとって二十代と三十代の大半を過ごさせてもらった学校である。昭和四十八年四月、大学を卒業したばかりの青二才が、教員の何たるかもよく分からぬままに赴任し、平成元年の三月まで、そのまま十六年間を、根を生やしたごとくに落ち着いてしまった。「君は若いからサッカー部の顧問だ。」との、大井校長のおっしゃるままに、ずぶの素人がサッカーにはまり込んで、部活動はサッカー以外に知ることもなかった。二年目に担任を仰せつかってからは、生徒とともにある担任の仕事の楽しさからも離れ難く、そのまま五回りの担任を経験することにもなったのである。

五十嵐校長ご退職の後を受け、十七年ぶりに赴任した興譲館は、笹野の地に移って二十年になんなんとする歴史を刻みながら、緑の木々に囲まれた打ちっぱなしのコンクリートの建物には、一層重厚な趣が備わった。市街地から遠く不便だとの声がないわけではないけれど、豊かな自然に恵まれ、景観の優れた学校としても、全国に知られることになった現在の興譲館が、高校生が学ぶ学習環境として、いかに素晴らしいものであるかを、私としては声を大にして説かねばならぬとも思う。

しばらくぶりに見る今の生徒たちは、以前にも増して素直である。朝、登校時には、「おはようございます」の爽やかなあいさつが、ごく自然に交わされる。火事を想定して先頃行われた避難訓練の際には、大半の生徒が、煙を吸わないように、ハンカチを鼻に当て、小走りに集合してくる。おとなし過ぎて覇気がないのでは、などと揶揄する前に、真面目にやるべきことが真面目にやれることの美点をこそ称えねばならぬ。

六月に行われた体育祭には、クラスが一丸となって燃え上がり、仲間の活躍に一喜一憂する、昔と変わらぬ生徒達の姿があった。つまらぬといえばつまらぬことに「馬鹿」になれることは、若者なればこそである。

再び赴任して3ヶ月。興譲館の卒業生ではないけれど、卒業生以上に興譲館に対する思い入れも、愛着も強いことを自負する私にとっては、優秀な生徒と職員に囲まれた、なんともうれしい毎日である。

壮行式　2学年主任が檄を飛ばす！

同窓生会員名簿できました。

同窓会はいままで五年毎に会員名簿を発行してきました。母校は今年、学校令がしかれた明治十九年から数えて百二十年の記念すべき年に当たります。奇しくもこの年が名簿発刊の年でもありましたので、会員の皆様に何かとお手数をおかけしたかもしれませんが、まずは完成を見ました。御協力頂きました方々に心より御礼を申し上げます。

名簿の編集後記に記しましたが、同窓会会員の皆様には、学年の代表者が集まって下さる理事会や、同窓会報十八年版など、さまざまな場面でこの事業についてお願い申し上げてきたのですが、周知徹底することなく、時節柄とでも申しますか、今迄にない種々の苦労も味わいました。今回は、確認カード発送から回収・整理まで、名簿発行業者にお願いした関係上、従来のように発行担当者が母校に常勤しなかったのです。したがって、窓口になって下さった母校、特に事務室の皆さんには多々ご心労をおかけしたことを申し訳なく思っています。

結果的には、多くの皆様にお世話頂き、新たに5学年分を加えた会員名簿、同窓会活動に欠かせない名簿の発刊を、素直に喜びたいと思います。

最後に、このたびも同窓の方々の企業等から多数の広告を頂戴できました。更にこのたび初めて導入を試みた協力金制度に対しても多数の会員からお心を寄せて頂きました。皆様の母校を、そして同窓会に対する熱い心に、この事業に携わった担当者一同、心より感謝申し上げております。

なお、事前に購入希望者を確認させて頂きました分に、母校保管用として若干増刷しました。今後購入希望の方は事務局までお申し出ください。　（文責　事務局）

同窓会のうごき

東京支部総会・講演会・懇親パーティ盛大に開催！

東京支部長　飯沼俊男

去る七月八日午後三時、ホテルニューオータニにて、母校蒲生直樹校長先生、高野譲同窓会長、土澤体文後援会長のご出席のもと、横山彰人副幹事長（S42卒）の司会により、神野民夫副支部長（S32卒）の開会宣言の後、第I部定例総会が進められ、諸議案を満場一致可決した。

同三時半より、第II部の講演会では、紺野耕先生（S30卒・日本獣医生命科学大学名誉教授）の『数字で見る動物達の消化機能の違い』と題された、私たちの身近な動物達の生態と消化機能の関連、ペットブームにおけるペット達のライフサイクルにおける危険な状況などについて伺いました。

第III部の懇親パーティは、斎藤敬二副幹事長（S48卒）の司会により、鈴木吉助（S36卒）実行委員長の開会宣言に続き、坂崎拓生（S36卒）さんの楽しいマジックショー、そしてジャズボーカル歌手青柳陽子（S56卒）さんの歌声が会場一杯に流れる中、置賜の地酒やワインを傾けながら、〝あの頃〟の話を大いに弾ませ、校歌・応援歌・部歌が流れ、最年少の新野ゆかり（H4卒）さんの万歳三唱で、百三十名の参加者がサクランボと玉コンニャクも口にしながらの〝母校の日〟は、かくして幕となりました。

還暦過ぎの三八会修学旅行

米沢近辺に住む昭和三十八年卒の我々は変な理由をつけての酒盛りを昔から楽しんできた。

高校時代に修学旅行がなかったことが酒肴になり、「身体を鍛えて勉強する学校だから」と事実と違う理由付けで楽しく笑い転げていたものです。

日本最古の政治・文化の発祥地、飛鳥の都を除いて最適の修学旅行地はないとの結論に達し、事は始まりました。すべての準備、隊長の役割をこまめに果たしてくれた斎藤栄助君、秘書の役割を果たしてくれた中條淳子嬢の尽力には頭の下がるものがあります。

恩師の曽根伸良、本間和夫、高野譲の諸先生を含み、米沢周辺から二十七名、仙台、東京、神奈川、千葉、新潟八名、京都、兵庫二名の総勢三十七名で、奥様同伴の者六組、とまさに多士済々の面々でした。

奈良〝山の辺の道散策と万葉・大和路の旅〟が旗印でした。小林栄君の講義の後に山の辺の道に踏み入り、最初の歌碑で額田王作の反歌「三輪山を　しかもかくすか　雲だにも　心あらなむ　かくさふべし也」、最後の二十五番目の歌碑まで歩くこと延々十kmの山道。恩師とは有り難く、曽根・高野の両先生が見事に解説をサポートをしてくださいました。日本最古の相撲のあった神社を見、当時の相撲は取り組む者のどちらかが死ぬまでやったという恩師の解説に得心し、合コン発祥の地では、そんな時代に生まれておったらという虚ろな目をした顔があちこちに見えました。

高校時代には飲めないことになっていた夕べの酒盛りでは、誰が恩師で教え子なのか分からない容姿と同様に、話ぶりも友達のように和やかで楽しく充実した二晩でした。

旅から帰り三週間目に、はばき脱ぎを開催。懸命な写真撮影に徹した芳賀康雄君と鹿俣祥一君からの写真のプレゼントやビデオ撮影の安田道隆君と種村邦彦君には感謝です。

山の辺の道を歩いていた時に、「万葉の歌は英語になるのか」との疑問の声があったのを受けて、会の冒頭に恩師本間先生作の英語版万葉恋歌と小林伸也作の英語版万葉集を資料に簡単な講義があり、まさに修学の言葉を裏切ることのない旅だったと総括しています。

（文責　小林伸也）

山辺の道をゆく一行

白布マラソンのご案内

・期　日　平成18年9月17日(日)
・申込先　土澤　幸雄
米沢市徳町2219－18
TEL 0238（22）6934
・申込期日　平成18年8月末日

「秋の白布街道を走ろう」を合言葉に、昨年は個人で全コース走破された方五名。リレー方式で五学年の参加でした。終了後、西屋さんのひと風呂浴びてからの直会は最高です。白布マラソンの経験のない学年も大歓迎です。
なお、詳細は参加を希望される方々に連絡いたします。

堀野浩史リサイタルのご案内

・どこで　伝国の杜　置賜文化ホール
・い　つ　2006年9月18日（月・敬老の日）
開場＝午後1時30分
開演＝午後2時

興譲館を昭和四十三年に卒業され、東京芸術大学声楽科に学ぶ。その後ドイツに留学、帰国後はドイツ歌曲演奏会はもちろん、「音楽の友ホール日本歌曲シリーズ」に出演するなど、現在は日本歌曲に本格的に取り組んでいる。
オペラでは二期会はじめ、東京室内歌劇場、各地市民のオペラで活躍。英、独、仏、伊においても好評を博した実績を持つ。
畑中良輔氏をして「スーパー　バス」と言わしめた彼の日本人離れした低音、豊かな感受性、言葉の鮮明さを、仲間の熱いバックアップの下に実現するこの演奏会で是非ご確認下さい。
曲目は「啄木短歌集」、「この道」、「出船」、「待ちぼうけ」等。
なお、当日「米沢混声合唱団」も賛助出演して下さいます。
チケットのお問い合わせ＝きものの紅屋【古山敏昭】まで。
電話　0238（22）2085。

事務局だより

今年の三月も母校の卒業式に列席させてもらった。卒業生代表の高橋愛さんは「私達がここで得た、深く学ぶ姿勢や向上心、団結力、そして友情は、これから新しい生活をスタートさせる私たちの指針となるでしょう。私たちは世界に貢献できる人にならなければなりません。この興譲館での三年間は、その礎を形成する重要な期間になったと確信しています」と充実したであろう高校生活を振り返っておられた。
そして在校生代表の島貫源基君は「これからは先輩方が守り築きあげてこられた三百年の伝統と校風を私達が引き継ぎ、興譲館の名に恥じない学校にしていきます」と心強い決意を述べておられる。
私はその後、今年の同窓会総会・懇親会担当の実行委員会に数回参加させて貰った。佐藤清二実行委員長の学年を筆頭に五学年が、ただひたすらに成功裡をねがい、真摯に頑張っておる様子に頭の下がる思いと同時に、こうして母校の精神が脈々と受け継がれていく様を目の当たりにし、感動を覚えている。

人間関係の希薄さが指摘されつつある今日、連綿尽きぬ興譲の流れを受け継ぐ若者が多々居られることを同窓生の皆様にお知らせして、この稿をしめたい。勿論、この会報に寄稿して下さった方々に感謝申しあげつつ。（文責　遠藤）

平成16年度　同窓会会計決算書

（平成16年9月1日～ 平成17年8月31日）

収入の部　（単位：円）

項目	予算額	収入額	増減	備考
繰越金	863,249	863,249	0	前年度繰越金
入会金	1,652,000	1,617,000	△ 35,000	7,000円×231名
年会費	2,300,000	1,200,000	△1,100,000	
過年度会費	1,050,000	0	△1,050,000	
雑収入	751	35,353	34,602	預金利子 300年事業より(35,343)
計	5,866,000	3,715,602	△2,150,398	

決算額

収入済額　3,715,602円－支出済額　2,844,236円

＝残額　871,366

（次年度へ繰越）

支出の部　（単位：円）

項目	予算額	支出額	残額	備考
運営費	**1,700,000**	**1,398,406**	**301,594**	
会議費	100,000	84,985	15,015	常任理事会・事務局会
通信連絡費	100,000	11,290	88,710	郵便切手
需用費	300,000	102,131	197,869	事務用品・封筒印刷
人件費	1,200,000	1,200,000	0	人件費会計へ繰出し
事業費	**1,580,000**	**1,377,830**	**202,170**	
一般事業費	1,000,000	826,122	173,878	各支部総会（旅費・お祝い）送料補助
卒業記念費	240,000	222,300	17,700	記念品代（認印）
表彰費	40,000	29,408	10,592	永年勤続者（2名）
会報費	300,000	300,000	0	会報第34号 7,000部
予備費	**2,586,000**	**68,000**	**2,518,000**	
予備費	2,586,000	68,000	2,518,000	平成15年度会議費
計	5,866,000	2,844,236	3,021,764	

窓会支部役員

◎置賜地区県職員同窓会

幹事長　大海康一

連絡先　〒992－0012　米沢市金池東南置賜合同庁舎

TEL 0238（24）2311

◎高畠支部

支部長　登坂捷一

〒992－0351　東置賜郡高畠町高畠2152－23

TEL 0238（52）0017

副支部長　梅津伊兵衛・星　寛治

幹事長　鈴木征治

事務局長　連絡先　金田成康　高畠町役場内

TEL 0238（52）1111

◎赤湯支部

支部長　吉田堅治

副支部長　石岡忠一・佐藤有弘

◎宮内支部

支部長　佐藤　稔

副支部長　川合悌次郎・星　清一

幹事長　吉田文雄

監事　高橋正夫

連絡先　〒992－0472　南陽市宮内3010－10

吉田文雄　TEL 0238（47）2706

◎川西支部

支部長

副支部長

監事　船山昭司・嶋津憲英

幹事長　猪狩文昭

事務局長　島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治

連絡先　〒992－0121　東置賜郡川西町上小松

川西町役場　猪狩文昭

TEL L 0238（42）2111

◎長井西置賜支部

支部長　松下鉛三郎

副支部長　井上俊雄

芳賀康雄

幹事長　渡部秀一

事務局長　斎藤道郎

◎小国支部

支部長　高橋清人

副支部長　伊藤通芳・小林新太郎

事務局長　高橋健人

◎興譲館同窓会校内役員

理事　手塚美雄・石黒宏治

幹事　加藤真琴・須藤久雄・佐藤美枝子

平成17年度　同窓会会計予算書

（平成17年9月1日～ 平成18年8月31日）

収入の部　（単位：円）

項目	予算額	収入額	増減	備考
繰越金	871,366	863,249	8,117	前年度繰越金
入会金	1,652,000	1,652,000	0	7,000円×236名
年会費	2,270,000	2,300,000	△ 30,000	昭32年～平8まで5万円（40学年）昭31年～21・22年まで3万円(9学年)
過年度会費	0	1,050,000	△ 1,050,000	
雑収入	0	751	△ 751	
計	4,793,366	5,866,000	△ 1,072,634	

支出の部　（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	残額	備考
運営費	**1,700,000**	**1,700,000**	**0**	
会議費	100,000	100,000	0	理事会等
通信連絡費	100,000	100,000	0	郵便切手
需用費	300,000	300,000	0	慶弔・事務用品
人件費	1,200,000	1,200,000	0	人件費等
事業費	**1,560,000**	**1,580,000**	**△ 20,000**	
一般事業費	1,000,000	1,000,000	0	各支部総会（旅費・お祝い）
卒業記念費	240,000	240,000	0	記念品代（236名分）
表彰費	20,000	40,000	△ 20,000	永年勤続者（1名）
会報費	300,000	300,000	0	印刷費
予備費	**1,533,366**	**2,586,000**	△ 1,052,634	
予備費	1,533,366	2,586,000	△ 1,052,634	
計	4,793,366	5,866,000	△ 1,072,634	

米沢興譲館同

◎米沢支部

支部長　小関　薫
副支部長　菅野武巳・大友恒則
監　事　安達治雄・安田道隆
幹事長　相田修一
事務局長　栗林雄二
連絡先　〒992－1443　米沢市大字笹野1101
米沢興譲館高等学校
TEL 0238（38）4741

◎東京支部

支部長　飯沼　俊男
副支部長　神野　民夫
幹事長　吉田　仁志
副幹事長　本川　裕・宮坂孝夫・横山彰人・井川陽一
石垣典子・大浦顕逸・斎藤敬二
連絡先　〒120－0002　東京都足立区中川4－8－11－101
㈱ハナマル　吉田仁志
TEL 03（3606）6101（FAX共）

◎関西支部

支部長　堤　伸陸
副支部長　佐藤吉憲・吉田　真
幹事長　佐藤和栄
事務局長
連絡先　堤　伸陸
〒573－1121　大阪府枚方市楠葉花園町5－1－1203
TEL 072（851）4848（FAX共）

◎宮城支部

支部長　中條　仁
副支部長　芳賀滋爾・和田美知子・香坂昌紀
幹　事　猪俣良市・森下和夫・熊坂　仁・安部雅人
事務局長　安部雅人
連絡先　〒983－0862　仙台市宮城野区二十人町6
TEL 022（291）5372（中條　仁）

◎山形支部

支部長　二瓶　功
副支部長　長尾義彦・堤　孝雄・後藤　寛
幹　事　板垣　寛・花輪完治
監　事　安藤隆夫・岩沼　甫

◎県庁・教育委員会職員同窓会

支部長　近野久佐エ門
副支部長　伊藤和夫・田中順一
幹事長　仁科義英
幹事長代理

母校だより

本校の広報活動

～開かれた興譲館をめざして～

広報委員会　倉田哲朗

現在、広報委員会では本校の教育活動に対して多くの方々から理解をいただけるように、本校の生徒、保護者はもちろん、中学生はじめ地域の方々、全国の皆様に対して広報活動を積極的に展開しております。いきいきと学校生活を送っている本校生の実状を見ていただき、本校の良さをわかっていただけるようにPRに努めております。主な広報媒体と概要は次の通りです。

(1)HP（ホームページ）による広報

できるだけ最新の情報が掲載できるように、こまめに更新しております。アドレスは下記の通りです。アクセス数も一万三千回（平成十八年七月時点）を突破いたしました。是非ご覧頂き、ご意見を頂戴できればと存じます。

(2)「興譲館だより」の発行

本校の広報誌「興譲館だより」を年三回発行しております。本校生徒、保護者及び地域の中学三年生などに配付しております。カラフルな構成で、いきいきとした生徒の表情や生徒の生の声を中心にしていることが魅力の一つです。「興譲館だより」を目にした中学生が本校の良さを少しでも分かっていただき、本校を志願する生徒が益々増加するようにと願っております。今年度からは教育振興会の広報部会との連携を図り、保護者のコーナーも掲載する予定です。HP上にもPDFファイルで掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

(3)学校案内・学校要覧などの刊行物の発行

毎年、発行している刊行物です。他校のものに比べて負けないものを発行しようと企画しております。

(4)オープンスクールと学校説明会の開催

今年のオープンスクールは九月二十四日（日）を予定しております。毎年、四百名を超える中学生を迎え、学校生活や理数科の説明、模擬授業、部活動見学、進学相談会などを実施しております。本校生がボランティアで中学生の案内役を務めたりして、中学生の評判もなかなか良いようです。学校説明会は地域中学校の教員向けに実施しております。今年は十一月十四日を予定しております。依頼があれば、中学校へ直接訪問しての説明会も実施しております。

本校のホームページアドレス
http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/